

令和5年10月31日

第四小学校保護者 様

和光市立第四小学校
校長 藤 律之

令和5年度の全国及び埼玉県「学力・学習状況調査」の結果について

寒冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度5月に実施した「全国学力学習状況調査」及び「埼玉県学力・学習状況調査」の本校児童の結果について分析を行い、学力向上のための取組をまとめましたので、以下の通りお知らせします。また、「埼玉県学力・学習状況調査」の結果を本日児童に返却いたしました。下記に本調査の目的を示してありますので、ぜひ、各家庭で話題として頂けたらと思います。

記

1 調査の目的・内容

(1) 全国学力・学習状況調査（対象：第6学年）

【目的】文部科学省が、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることや、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる。

【内容】・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に係る内容等
・生活習慣等についての質問

(2) 埼玉県学力・学習状況調査（対象：第4学年、第5学年、第6学年）

【目的】「学習した内容がしっかりと身に付いているか」という視点とともに、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えて、子どもたち一人一人の学びや成長の姿を明らかにするとともに、子どもたちの学力の伸びを経年の調査結果から把握する。

【内容】国語・算数・生活習慣等についての質問

2 調査結果（それぞれの調査結果を踏まえたもの）

【よい点】○国語では、「読むこと」についての項目で大きな伸びが見られます。

○算数では、「図形の問題」に対するの正答率に伸びが見られます。

○「登校時刻や授業開始の時刻を守ることができている」と考えている児童の割合が高くなっています。

【課題】 ●国語では、「文章の構成を理解する」の項目をさらに身に付けていく必要があります。

●算数では、「データの活用」の項目をさらに身に付けていく必要があります。

●「進んであいさつをする」ができていると考えている児童の割合が低くなっています。

3 取組 ☆国語では、言語感覚を働かせ、正確に理解したことをもとに、「主語述語の関係」や「起承転結」を意識して自分の考えを適切に表せるよう、「書く」活動の充実を全学年で取り組んでいます。また、単元の見通しを持たせるための導入の工夫を行い、主体的に学習に取り組めるように授業を展開しています。

☆算数では、課題解決のための自力解決や、自分なりに本時の課題をまとめる時間を確保しています。また、「データの活用」の向上に向けて、より身近なデータを授業で提示したり、社会科や理科などの複数の教科にまたがって学習を進めたりしています。さらに、複数の教員が授業に入り、個に応じたきめ細かな指導を継続しています。

☆朝自習において、国語と算数で課題の見られた内容について取り組みます。

☆あいさつを進んでできる児童の育成のため、校内ではもちろんのこと、登下校の際もあいさつができるように指導を行っています。

学力の伸長や定着には、学校と家庭の連携が大切です。ぜひ、ご家庭でも1学期に配付した「家庭学習の手引き」を参考にお子さんが進んで学習できるよう励ましをお願いします。

※「家庭学習の手引き」はHPからダウンロードできます。